



はまなす季刊

医療法人はまなすHP ▶▶▶ <http://www.hamanasugeka.com>

医療法人はまなす **篠路はまなすクリニック**

〒002-8024 札幌市北区篠路4条9丁目12番45号
TEL (011)776-3030・FAX (011)776-3001

医療法人はまなす **はまなす医院**

〒061-3284 石狩市花畔4条1丁目141番地1
TEL (0133)64-6622・FAX (0133)64-6555



クリムト作：黄金のアデーレ

のどもと過ぎても

理事長 工藤 岳秋

本誌84号(平成28年11月)の巻頭言は「透析医療における災害対策」でした。熊本地震が起きた年で、電気と大量の水を必要とする血液透析は極めて脆弱な医療である、ということを述べました。

今回の胆振東部地震では病院の建物・設備に異常が生じず、患者さんや職員も無事だったのは幸いです。しかし水が供給されているにも関わらず停電によって透析が行えなくなり、もどかしさが募りました。平時には意識しないライフラインの重要性を痛感させられました。

震源地付近では未だに生活が困難な方も多く心が痛みますが、子どもの診療体制は電力の回復とともに平常通りになりました。しばらくは余震に脅かされたりもしましたが、生活も日常を取り戻しています。

月並ですが、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という警句を意識すべき時期です。記憶が新鮮なうちに災害への備えを見直し、万全を期したいと思います。

エビ採り

副理事長
はまなす医院院長
工藤 立史



今年の8月、家族で沖縄旅行をした。到着翌日に沖縄近海で新たな台風が発生するという不運に見舞われ、やむなく屋内で過ごすことになった。4日目にして晴れ上がり、ようやくコバルトブルーの海にお目にかかり、屋外での活動が可能になった。

沖縄には珊瑚礁の海にも増して、美しい山や清流もあり、エコツアーが実施されている。我々も家族で楽しめるという「川エビ採り」なるツアーに申し込んでみた。本島北部、やんばる地区の奥間川は台風直後にもかかわらず、驚くほど透き通っている。水深は深くても大人の膝丈程度で、流れは緩やかだ。3歳と6歳の子供はライフジャケットを身につけて川に入るも、彼ら

にとってエビ採りは難易度が高いため単なる水遊びとなった。時折川に浮かんで流れに身を任せて下っていくなど、普段できない体験をして楽しげである。疲れたら、ガイドが用意した発泡スチロール製ボートで休むこともできる。一方で大人は、たも網を持って川底のテナガエビを真剣に探していく。ガイドはエビを見つけてはそっと網をかぶせ、次々と捕獲する。大きいもので全長15cmほどある。砂の色と同化しているため素人にはなかなか発見できなかったが、次第に目が慣れてきて一時間ほど粘ってやっと一匹ゲットできた。

暑い沖縄で川に浸かるのは大変心地よく、贅沢なひと時であった。全長50cm以上はあろうかというオオウナギが悠々と泳いでおり、川岸には青緑にキラキラと輝くリュウキュウハグロトンボが飛び交っている。南国の植生もまた興味深く、ヒカゲヘゴ、シナモン、クワズイモなどが印象的だ。

さて、漁を終えた後に早速エビを味わってみた。フライパンで焼くと薄褐色からたちまち鮮やかな赤色に変化し、頭から尻尾まですべて食べられる。ビールのおつまみには最高だが、その日は那覇までレンタカーを運転するという仕事が残っていたためアルコールは控えざるをえなかった。

今回訪れたやんばる地区は、手つかずの自然がいまだ残されており、2016年に日本で33番目の国立公園に指定されている。夏の沖縄は台風の心配がつきまとうが、またいつの日か当地で別のアクティビティーを楽しみたい。



バスキュラーアクセス超音波セミナーを受講して

臨床工学技士 野口 公貴

先日バスキュラーアクセス(以下VA)超音波セミナーを受講してきました。9月22日(土)ANAクラウンプラザホテル札幌にて富士フィルムメディカル主催で開催され、3名の講師の方々に来ていただきました。まず、透析施設のコメディカルむけに基本的な超音波診断装置(以下エコー)の操作方法から透析患者さんのシャント作製に使用される血管についての解説をして下さいました。また、自施設でのエコー活用方法としてシャント写真に血管の走行や深さを実際に書き込んでVAシャントマップ*を作製してスタッフの違いによる穿刺ミスを減少させる取り組みを聞くことができました。

最後には、シャントがある透析患者さんに協力していただき、実際にエコーをあてながらきれいな画像の出し方やエコーガイド下穿刺のコツなどを解説するライブデモが行われました。直接見ながらの解説でわかりやすく理解することができました。

低侵襲なエコーの新たな活用を知ることができ普段の診療にも役立てるよう知識と手技をもっともっと勉強していこうと思います。

※VA シャントマップ：シャントの走行や深さを記した図

“It's a long day.”

= 大停電の恐怖 =

台風と大地震の
ダブルパンチを経験して

医療法人はまなす 会長 工藤 謙三

(1) 平成30年9月4日(火)、夜半から石狩地方を襲った台風は5日(水)の未明にかけて花畔に停電をもたらした。横殴りの暴風雨にさえぎられて、外出がままならない。嵐の通り過ぎるのをじっと待って、5時過ぎ、夜明けとともに看護師詰め所にたどり着いた。夜勤のナース(高本さん)は存外冷静で、院内には特別の被害はありません、とのこと。だが電力がなくては仕事にならない。電力カットに対応すべく、当日の透析治療の中止を決めた。連絡網を駆使してその旨を通知したのち、外来診療をも休診とした。

この日、幸いなことに、篠路地区は停電の被害を免れていた。後から思えば石狩の透析患者を篠路のクリニックに依頼することは可能だったが、その時点でそこに思いは及ばなかった。さらには、台風被害に続いて翌日に訪れる大地震と大停電をだれが予想しただろう。

(2) 日暮れとなる午後6時を見定めて、もしそれまでに電力が回復すれば、夜間にかけて透析を行う旨、通達を出した。5時半過ぎ、電力の回復は夜の10時以降になるとのもっともらしい情報が入った。これを受けて私は、6時10分前、その日の透析は行わない、との決断をくだした。ところがその直後に電力が回復したのである。思い直してその日のうちに透析を行うべきかどうか迷ったが、前言は撤回しなかった。患者に連絡を取りスタッフを集めれば透析終了は12時を回ってしまう。翌日へ持ち越す疲労を避けたかったこともあるが、何より、長かった一日の私自身の疲労が大きかった。

(3) その夜は早々と寝床についた。熟睡できた、と思う間もなく、地震が襲った。大きな揺れであった。すぐさま停電になった。しかしほどなく通電し、テレビによって震源地と地震の規模を知るに至ったが、それをつかの間、再び暗闇に見舞われてしまった。本格的なパワーカットの始まりであった。即座に医院におもむき、被害の確認をした。その夜当直のナース(原洋美さん)も、見事なほどに沉着冷静だった。夜明けを待って、またまた関係各位に透析不可能の連絡を取り、二日続けての休診へと突入した。今回は篠路地区もやられている。北海道全域が停電になっていることを知ったのはさらに後のことであった。

(4) 電力の復旧は長引く気配を呈し、5日と6日、二日分の透析ができないことになった。せめて5日の患者のだけでもほかの施設に依頼できないものか!八方手を尽くすも、受け入れ先は見つからない。ここで立史院長の人脈が生きた。北海道医療センターの透析を担当する柴崎先生が応諾してくださったのである。だが同センターの透析室のキャパは19床である。当院の患者数は30名を同時に行うことはできない。2回に分けて行うことになった。

看護師長(田宮さん)は早朝から獅子奮迅の働きをした。電話回線の不備を押して患者への連絡をとりつけ、8台の送迎車を2陣に分けて送り出すことになった。連絡のつかなかった4名の患者については玄関口まで迎えにやって、車に乗ってもらうなど、混乱はあったものの、無事にその日の透析を全うすることができた。信号機の停止した車道へと、4台の車両が連なって出発する様は悲壮感さえ漂っていた。

(5) 6日(木)夜半、電力の回復を得た。いまだ情報は不確かだったが、とりあえず翌日の透析は行えそうである。7日(金)、爆睡から夜明けとともに目覚め、恒例のパラ園の巡回を始めた。その途端、宮繕の係(船水さん)がやってきて、篠路の電気がまだつかない、という。ベルトに剪定鋏をつるした作業着のまま医院におもむき、看護師詰め所から指揮を執った。今回は電力の回復の見込みは想定できなかった。午前5時過ぎ、岳秋院長に連絡を取り、篠路クリニックの透析患者の分を、石狩の医院で賄うことになった。篠路クリニックに通う95人の患者をキャパ38台の石狩の透析室が担うわけである。相当な困難が見込まれたがやるしかない。

①始業時間を1時間早める。②一人当たりの透析時間を3時間に短縮する。③一日に4回転の透析を行う。④篠路の透析スタッフにも応援を求める。⑤ドライバーに患者送迎変更の指示を与える……と、机上の計画はよかった。だが、電話回線が混乱するなど連絡がままならず、災害対策本部と化した透析室カウンターは喧騒を極めた。9時過ぎには篠路クリニックからスタッフが駆け付けて、透析はとどこおりなく行われたが、すべてが終了した時、日付が変わっていた。

(6) 8日(土)。2日分を2回転で透析を行った。終了は5時過ぎ。二日間にわたった強行スケジュールを終えたときは力の抜ける思いであった。

7日は、はまなす医院を開業して以来、最も長い一日だった。時計の針が12時を回るころ、思わず“It's a long day.”というフレーズが口をついて出た。

多々反省点はあるが、透析機械にもトラブルがなく無事故で推移したことを、この場を借りて関係各位に感謝する次第である。

平賀さん送別会

7月21日、麻生のミアボッカで、篠路病棟看護助手の平賀由希子さんの送別会を行いました。病棟を石狩から篠路へ移転したときに頑張ってくれた仲間の一人であり、お別れするのはとても残念ですが、この会がお互いに良き思い出のひとつになったと思います。（原明美）

新入職員紹介



篠路はまなすクリニック
透析室 看護師
川名 弘恵



篠路はまなすクリニック
透析室 看護師
岩城 真奈美



篠路はまなすクリニック
厨房
遠藤 奈々子



篠路はまなすクリニック
透析室 看護助手
野村 和枝



はまなす医院
透析室 看護助手
田村 ゆり

編集委員が増えました



編集委員になりました医事課の小野沙也香です。皆さんに季刊誌を手にとって楽しんで頂けるように頑張りますので、よろしくお願いします。

篠路看護部で

歓迎会を開催しました

10月13日(土)札幌駅前の丸海屋で看護師3名、助手1名の歓迎会を開催しました。

普段違う部署の看護スタッフが集まることは多くありませんが、今回は、外来・透析・病棟の合同開催ということで交流が深まり、大盛況のうちに終了しました。

(佐藤裕美)



医事・総務の

歓送迎会をしました!

10月25日、ルンゴカーニバル 野菜居酒屋 真狩村金丸農園直営で

篠路医事 鳴海 千里さん、石狩総務 大崎 清隆さん

お二人の歓送迎会を行いました。

ヘルシーな野菜と、たくさんの魚介がとても美味しかったです。

総勢16名で楽しい時間を過ごしました。鳴海さんお疲れ様でした。(小野沙也香)



大腸CT撮影

篠路はまなすクリニックの落成から3年、はまなす医院リニューアルから早1年が過ぎました。篠路では診療オープンにあたり新たにX線透視装置、CT装置、一般撮影装置、外科用Cアームと放射線科の医療機器が充実し、石狩でも同様にリニューアル時に機械の総入れ替えをしました。それに伴い検査内容が多岐にわたり、これまで以上に診断に寄与できるようになりました。その中で今回紹介しますのが、CT装置で行える検査の一つである大腸CT（篠路でのみ対応）です。

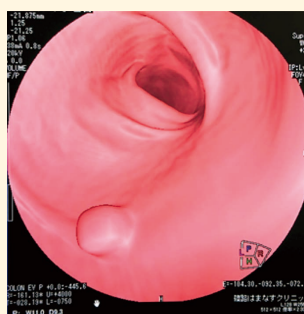
この数年で、情報処理技術が進み、より多くのデータが短時間で処理できることが可能になり三次元物体を表示できるようになりました。それを応用したものの一つとして大腸CT検査があります。

検査の手順として

- ①検査前はお薬によって腸管の中をきれいにします。
- ②肛門にチューブを入れ炭酸ガスを注入します。
- ③十分に膨らんだら、CTで仰向け・うつ伏せと2回撮影を行います。

そして、この検査で得た情報を処理し技師が大腸3次元画像を作成します。

大腸の検査で行うものとしてはまず、内視鏡検査が一般的ですが、内視鏡検査と比較して大腸CTは苦痛が少ないと言われており、検査時間も短縮することが可能となりました。



仮想大腸内視鏡像



注腸類似像

透視撮影

X線透視装置では透析患者様の安心・安全のため、必要な検査・治療を行っています。

シャントトラブルが発生した場合にはいち早くシャント造影を施行、狭窄部位を確かめ、治療が必要な場合にはPTA（経皮的血管形成術）を行っています。

骨密度検査

骨密度の測定をすることにより、骨折のリスクや骨粗しょう症の判定に役立ちます。測定方法として手のX線撮影で写った骨の濃淡差で計測するMD法があります。精度はやや落ちますが、簡便で短時間で行える利点があります。昨年リニューアルしたはまなす医院ではX線骨密度測定装置を導入し、腰椎と大腿骨を測定する事で、より精度の高いDXA法（二重X線吸収法）を行っています。

その他にも、一般撮影室にもフラットパネルを導入することにより、以前より、検査時間の短縮・被爆の軽減が可能になりました。また手術室に外科用Cアーム装置（篠路のみ）を導入したことにより、血栓除去や、カテーテル挿入等に貢献しています。



左から鈴木さん、水野さん



左から菅原さん、村山さん

現在4名のスタッフで篠路はまなすクリニックとはまなす医院の放射線部門の業務を行っています。日々進歩する医療技術に乗り遅れないように研鑽しております。技術だけに走らず、患者様の気持ちに寄り添った医療に貢献できればと考えています。

（放射線科 菅原次郎）

藤女子大学の
学生が

研究のための調査に来られました！



8月20日～8月28日、藤女子大学 助教 田中洋子先生とゼミの学生2名(藤女子大学 人間生活学部 食物栄養学科)が「血液透析患者の栄養に関する研究」調査を行いました。同意を得られたはまなす医院の患者に、口答でアンケートをし、その結果と血液検査データや基本情報を基に今後の研究に生かしていくということでした。ご協力頂きました患者の皆様には感謝致します。

(管理栄養士 谷口絵里奈)

趣味紹介

はまなす医院 看護助手 高木 一哉



積丹町の海岸で釣り上げた今年一番の大作の海サクラマス(60cm)



溪流の女王と言われる独特の模様が美しいヤマメ(25cm)



トラウトの中でも1番強烈な引きを楽しめるニジマス(45cm)

自分には色々と趣味がありますが、中でも一番のめり込んでいるのは釣りです。一言で釣りといっても様々な種類がありますが、主としてトラウト(鱒)にターゲットを絞ったルアーフィッシングに20年近く魅せられています。

溪流ではイwana、ヤマメ、ニジマス、イトウ、海ではサケ、サクラマス、アメマスと北海道には様々なトラウトが生息しています。これらの魚はとても美しく野性味に溢れており、ふれあう度に感動を与えてくれます。

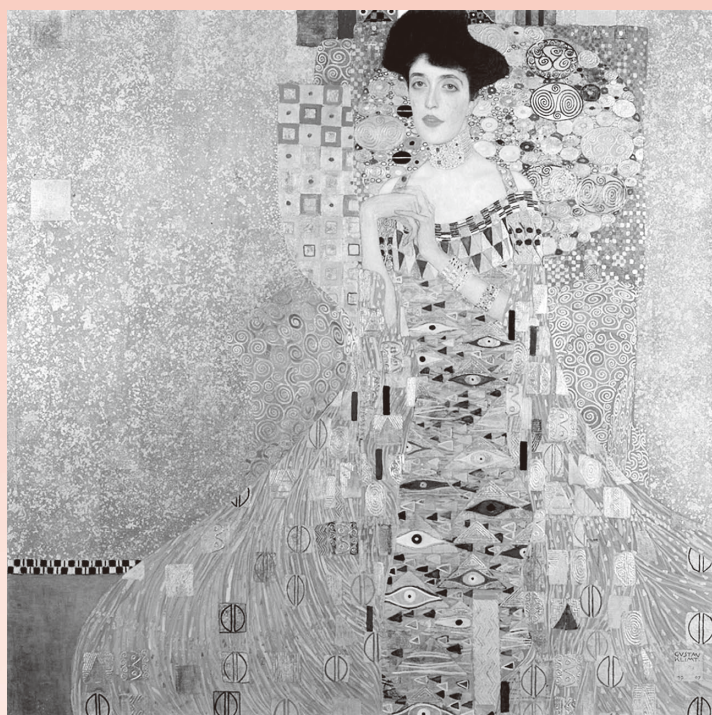
釣りには戦略性があり、より多くの魚と出会うには、狙う魚種、季節、水の濁り、水温、水量など様々な変化に応じた駆け引きが必要となり、その状況に応じた戦略を考えるのが楽しみの一つでもあります。そういったことから釣りは奥が深いと言われているのかもしれませんが。

しかしながら、自然の野生生物が相手の事ですから、釣れないこともたまにはあります。そんな時には四季折々の大自然の景色、山菜や茸の採集、訪れた先ならではの名物料理を食べ、寒い季節には温泉に立ち寄るなどして楽しんでいます。

中国の古いことわざで「永遠に、幸せになりたかったら釣りを覚えなさい。」というのを目にしたことがあり、深く共感できるものでした。この言葉が真実なのかは分かりませんが、永遠に幸せになれるものなのかを検証するために？これからも体力の続く限りこの趣味を楽しんでいきたいと考えています。

黄金のアデーレ

絵画・黄金のアデーレは、接吻、とともにクリムトの代表作として世に知られている。蛇足ながら、クリムトは18世紀末から19世紀にかけてヨーロッパに現れた「世紀末の芸術家」の一人である。オーストリアに生まれ、ウィーンで活躍した。



私自身実物を見たことはないが、先ごろこの絵画をめぐる映画を見たことから、その背景に興味を持った。

まずこの絵は、サイズ138×138cmの正方形のカンバスに描かれている。バランスの取れた長方形が一般的なかたにあって正方形というのはそれだけで挑戦的な試みといえる。画面全体に金箔がふ

んだんに用いられ、黄金の、と形容されるゆえんとなった。通常の肖像画と異なりモデルの上半身が右側上部に偏って描かれ、

余白ともいえる絵の大半を金色が覆っている。凹凸の少ない平面的な描き方は当時西欧に流行した日本画の影響といわれる。

モデルのアデーレ

は富裕なユダヤ人の実業家フェルディナンド・パウアーの妻で、日頃親交のあったクリムトに描かせたものだ。

アデーレは「この作品をウィーンのベルヴェデーレ美術館に寄贈する」という遺言を残して1925年に病死するが、その後時代は第二次世界大戦に突入し、ウィーンの街はドイツに占領されてこの貴重な絵画もナチスに収奪されてしまう。

パウアー夫妻には子供がなく、姪の二人の姉妹、ルイーゼとマリア、を実の子のようにかわいがっていた。だが、彼女らは親族をのこしたまま、ナチスの魔手を逃れてアメリカへと渡ってゆく。

映画は墓地でのルイーゼの葬式の場合に始まり過去と現在を往復しながら話を進めていく。

絵は、アデーレの遺言通りベルヴェデーレ美術館に展示されていた。ロサンゼルスに暮らす妹のマリアは姉の死によって相続者が自分一人になったことから、自分の手にこれを取り戻す

ことを決意する。

黄金のアデーレはウィーンのモナリザとも称され、絵画史上最高といわれた100万ドルの値がついていた。オーストリア当局は国宝級のこの絵画を容易に手放そうとせず様々な抵抗を示す。だがマリアはナチスに蹂躪されたことの思いに背を押さねながらついに勝訴を勝ち取るのである。しかしながら肉親を捨てるようにして祖国を離れた心の傷は彼女をすなおに喜ばせることはなかった。

老年ながら毅然としたスタイルのマリアを演じたのは、往年のオスカーク女優のヘレン・ミレン、迫真の演技であった。

とかく歴史的に有名な美術品には様々なエピソードがある。現在、黄金のアデーレはアメリカの富豪に買い取られて、ニューヨークの美術館に収納されている。クリムトの芸術性とともにこの絵にまつわる物語もまた永遠に語り継がれていくのだろう。

篠路はまなすクリニック TEL (011)776-3030

〒002-8024 札幌市北区篠路4条9丁目12番45号

FAX (011)776-3001

診療科目/外科・消化器外科・内視鏡外科・血管外科・麻酔科(工藤謙三)・内科・消化器内科・腎臓内科・透析

科名	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
一般外来	午前(9:00~12:00) ※受付12:00まで	工藤岳秋	工藤岳秋	工藤謙三	工藤岳秋	工藤岳秋	出張医	休診
	午後(13:30~17:00) ※受付16:45まで			出張医			休診	
腎臓内科	午前(9:00~12:00) ※受付12:00まで		山本準也			工藤立史		

透 析	月・水・金	(一部) 9:00～14:00
		(二部) 14:00～20:30
	火・木・土	9:00～15:00

はまなす医院

TEL (0133)64-6622

〒061-3284 石狩市花畔4条1丁目141番地1

FAX (0133)64-6555

診療科目/外科・内科・腎臓内科・透析・リハビリテーション

科名	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
外科・内科	午前(9:30~12:00) ※受付12:00まで	工藤謙三	工藤謙三	佐藤裕二	工藤謙三	工藤謙三	横尾(第1・3) 神山(第2・4)	休診
	午後(13:30~17:00) ※受付16:45まで						休診	
内科	午前(9:30~12:00) ※受付12:00まで	工藤立史		工藤立史	工藤立史			休診
	午後(13:30~17:00) ※受付16:45まで							

透析	月・水・金	(一部) 9:00～15:00
		(二部) 13:00～17:00
	火・木・土	9:00～15:00

◆患者様へお知らせ

◆火・金曜日に手術が入った場合、午後は外科から内科へ変更になることがあります
来院前にお電話でお問い合わせください

◆休診日/日曜日 ◆外科系救急当番(祝日のみ)…9:00~17:00



ご当地メニューの紹介

今年のお正月メニューを紹介します。松風焼きとは和菓子の松風のような見た目をした料理のことで、おせち料理としても使われています。鶏ひき肉を味噌や砂糖で味付けをして平らにし、上からケシの実をかけて焼く料理です。表面にだけケシの実をまぶし、裏には何も無い食べ物であることから、「裏には何も無い、隠し事のない正直な生き方が出来るように」という願いが込められています。今回はケシの実ではなく、白ごまを使用しました。おせち料理は購入することが多いという方も手作りする事で減塩になります。(管理栄養士 谷口絵里奈)

●松風焼き(4人分)

献立

- 米飯 ●松風焼き
- 里芋と竹輪の煮物
- チェリーケーキ(既製品)

栄養価(一人分)	
エネルギー	615kcal
たんぱく質	24.1g
脂質	9.8g
炭水化物	104.7g
カリウム	601mg
リン	264mg
食塩相当量	1.7g

材料

鶏ひき肉	200g	醤油	12g
にんじん	20g	砂糖	8g
たけのこ水煮	40g	みりん	12g
きくらげスライス	6g	白ごま(すり)	8g
乾燥しいたけスライス	3.2g	片栗粉	8g
長芋(すりおろしたもの)	80g	味噌	12g
鶏卵	1個	はちみつ	12g

作り方

- ①にんじん、たけのこはみじん切りに、しいたけときくらげは水でもどしてみじん切りにする。長芋はすりおろす。
- ②ボウルにひき肉とAを入れて混ぜ合わせ、Bを入れてよく混ぜ合わせる。
- ③オーブンシートを水でぬらしてまな板に広げ、余分な水をふき取ったら、②を6~7mm厚さの四角に広げ、形を整える。
- ④フライパンに薄く油を敷いて、中火にかけ、少し温まったら③を形が崩れないように入れる。
- ⑤表面に焼き色がつくまで5~6分焼き、ひっくり返して同様に焼き色がつくまで焼いたら完成。

編集後記

最近2歳の孫がよく「真似」をします。家庭、テレビ、保育園など、いろんな場面から、たくさんものを吸収し成長していくのでしょうか。先日、私が横着して足で物をよけた動作を真似されドキッとするという出来事があり、普段あたりまえにして

いる行動や言葉使いを見直し改めなければと痛感しました。気づかせてくれたかわいい孫に感謝し、一緒に成長していきたいと思います。

(A. H)